

風景街道「熊野古道伊勢路」推進協議会（仮称）

ニュースレター 創刊号

発行：2006年7月

設立総会開催！

7月3日（月）、三重県尾鷲庁舎大会議室で風景街道「熊野古道伊勢路」推進協議会（仮称）の設立総会を開催しました。地元活動団体、地元自治体、道路管理者など、たくさんの方が出席のもと、「みち」の修景化と、「癒しの原風景」や「もてなしの心」が感じられる交流空間の創造を目指して、今後、取り組んでいくこととなりました。

設立総会議事次第

- (1) 日本風景街道について
 - ア 先進事例（シーニックハイウェイ北海道）の紹介
 - イ 日本風景街道の概要
 - ウ 癒しともてなしの風景街道「熊野古道伊勢路」の概要
- (2) 推進協議会の設立について
 - ア 設立趣旨
 - イ 設置要綱
 - ウ 会長の選任
- (3) 今後の進め方について
- (4) 視察について

構成団体

ア・ピース・オブ・コスモス、うどの地区花づくりグループ、大内山婦人会ピュアグリーン、熊野川部会、熊野古道花街道、古道魚まち歩観会、膳、花の窟花街道、風伝峠部会、馬越峠・尾鷲市部会、馬越峠・海山部会、松本峠・熊野市部会、三重県トラック協会南紀支部、東紀州地域活性化事業推進協議会、国土交通省紀勢国道事務所、中日本高速道路株式会社中部地区松阪工事事務所、尾鷲市、熊野市、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町、三重県

会長は東紀州地域活性化事業推進協議会の室谷さん

会長においては、推進協議会が初年度であることを考慮し、地元活動団体の取組全般と行政の両面に明るい方がよいという理由から東紀州地域活性化事業推進協議会事務局長の室谷さんが推薦され、満場一致で選任されました。

シーニックハイウェイ北海道 先進事例ビデオ紹介

全国に先駆けて、3年前から取り組まれているシーニックハイウェイ北海道の先進事例が紹介されました。



地域住民と行政が連携し、「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」により、魅力的かつ個性的な北海道づくりを目指しています。

今後の進め方について議論

地域の魅力の再確認、地域内外の人々をひきつけるルートのストーリーを生み出すため、「活動方針」と「実施計画」の策定と、各団体の連携及び情報共有化を行うことについて事務局から提案がありました。

(会議の様子)



(意見交換)

- この取組みの期限はいつ？
- 道の駅の取組のような感じで、期限はない。
- この取組みは、夢のある活動につながって行くと思う。
- 国の助成金はどんなものか？
- 活動団体の取組に要する費用の1 / 2までを補助するとしているが内容などの詳細は決まっていない。
- 東紀州交流空間創造事業の各部会の今後の関わり方はどうすればよいか？
- 東紀州交流空間創造事業は、本年度で終了予定だが、部会の活動の継続は、各部会で議論して決定する。
- 取組みが何を指すものかよくわからない。
- この地域の取組や魅力をアピールしたい。
- この地域を良くするためにも、目標づくりの中で、いろいろと意見を出し合いたい。

日本風景街道戦略会議の委員の視察があります

国では、有識者による戦略会議を組織し、仕組みや制度検討のため、全国の33ルートを視察します。前日の和歌山県の視察に引き続き、この地域は8月7日(月)に各地域で行われているまちづくりや沿道美化の取組を視察頂き、意見交換を行いながら夕方に伊勢に着く予定です。今回は、その視察箇所などについて意見を出し合いました。

(意見交換)

- ア・ピース・オブ・コスモス中村さん、うどの地区花づくりグループ大田さんから、植栽活動をしているので視察を受けたいという意見がありました。
- 紀勢国道事務所からは、視察の際には、苦労している点についてお話して頂ければというアドバイスがありました
- 事務局からは、42号沿いだけでなく脇道も視察可能と考えるため、その他の活動団体さんも持ち帰って意見を頂きたいというお願いがありました。
- 行程等については、事務局が活動団体さんの意見を集約し、各構成団体と調整をとって検討していくこととなりました。

お問い合わせ・連絡先はこちら

【事務局】

◎三重県 県土整備部 高速道・道路企画室

(担当：鈴木、堀)

TEL : 059-224-2739

FAX : 059-224-2310

◎三重県 県土整備部 景観まちづくり室

(担当：川北、福井)

TEL : 059-224-2747

FAX : 059-224-3161
